

■ 社会学部・池内裕美ゼミによる第4弾産学連携「関大スイーツ」■

3種の新食感カップスイーツを開発

～ 12月20日からオンラインショップ(楽天市場ほか)にて販売開始 ～

関西大学社会学部の池内裕美ゼミは、昨年度に引き続き、株式会社プラタ（本社：大阪市、代表：谷原敦）ならびに株式会社デリコ（本社：堺市、代表：前田正雄）との産学連携カップスイーツを開発しました。同商品は12月20日（火）から、オンラインショップ（楽天市場ほか）にて販売されています。

本件の
ポイント

- ・社会学部・池内裕美ゼミが、第4弾となる産学連携スイーツを考案
- ・自分へのご褒美や手土産にもおすすめの新食感カップスイーツ
- ・素材選びからウェブページづくりまで、学生がこだわり抜いた渾身の逸品

消費者心理を学ぶ池内ゼミでは、これまで数々の産学連携商品を開発してきました。プラタとデリコの2社との連携は2019年度の和菓子開発に始まり、今回で第4弾となります。カップスイーツをテーマに考案した商品は、「生チョコおもちムース」「もっちりはんなりティラミス」「カップバターサンド」の3種。30～40代をメインターゲットとした、自分へのご褒美やお正月の帰省時の手土産としても活用できる関大スイーツです。

一番の特長は「さくっ」「もっちり」「しっとり」「ふんわり」「とろ～り」の様々な食感が楽しめる贅沢さ。スイーツの素材選びから細部までこだわり抜き、目と鼻と舌で存分に楽しめる逸品に仕上げました。また、“売れる”商品とするために、キーワードや写真の角度などにも工夫と検討を重ねて仕上げた、ウェブページやPR動画にもご注目ください。

「生チョコおもちムース」チームのリーダー・新熊優大さんは、「年齢問わずときめく『かわいくておいしい』を追求したところがポイント。生クリーム大福をイメージしており、もちふわ食感を楽しんでもらいたい。食感を表現することが難しかったが、生チョコと求肥の層をより薄くすることでムースの層と一緒に食べやすくなり、もちふわ食感を実現することができた」と語っています。

<関大カップスイーツの概要>

【商品の種類】 ※各商品ページは楽天市場「お取り寄せ絶品グルメ 食べモア」

- ①「生チョコおもちムース」 <https://item.rakuten.co.jp/tabemore/t-02-006/>
- ②「もっちりはんなりティラミス」 <https://item.rakuten.co.jp/tabemore/t-02-007/>
- ③「カップバターサンド」 <https://item.rakuten.co.jp/tabemore/t-02-008/>
- ▼楽天市場「関大スイーツ」ページ <https://item.rakuten.co.jp/tabemore/c/0000000191/>



<関大スイーツページ>

【価格】 各種セット販売（2種×3個の計6個入り）で3,980円（税込・送料込）

【販売期間】 2022年12月20日（火）～ ※在庫がなくなり次第終了



この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、中村、木田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp